

留萌
観光・感動
物語

ゴトトン、ゴトトン、
ゆっくりのんびり留萌本線



午後6時17分。夕陽を背に、増毛からの列車が留萌駅に到着する。

海沿いの駅

5月の連休期間中、今年も、JR留萌本線をゆっくと走る「増毛ノロッコ号」が運行し、多くの家族連れや鉄道ファンが列車での小旅行を楽しみました。

JR留萌駅では、市民や観光協会、市職員らが乗客の出迎えと見送りをを行い、笑顔の交流で連日賑わいました。

「地元のパックアップがあり、増毛ノロッコ号の運行は盛り上がりつつあります」。

天塩町出身で親子二代の鉄道マン、JR留萌駅長に赴任したばかりの長能博明^{ひろあき}さんに留萌観光の魅力について聞きました。

「留萌本線の魅力は、車窓間近に迫る海岸線の風景です」。

深川から増毛までの区間を走る留萌本線。留萌から到着の増毛駅までは、四季折々に変化する海岸線の風景を楽しめる路線で、特に、水平線に沈む夕陽は鉄道ファンにも人気です。

長能駅長が海の魅力とともに挙げたのは、食の魅力。留萌の海産物の美味しさに太鼓判を押す。その美味しさを乗客に味わってもらおうと、増毛ノロッコ号では、バーベキュー専用車両で予約制の海鮮バーベキューを提供しています。

「ここ」ならではの魅力

海、夕陽、海産物。どれも当たり前のように「ここ」にあるもの。それ故に、その価値の素晴らしさに慣れてしまっているのかもしれない。

「留萌には、用事がなくても来る価値があります。無理してでも来てもらう魅力があり、決して損はしません」。多くの路線で仕事をし、それぞれの地域の魅力に触れてきたからこそそのストリートな言葉です。

ゴトトン、ゴトトン、海沿いをゆく留萌本線。

心地良いリズムに揺られながら、いつもと違う留萌を発見するひとときが待っています。



出発進行、よい旅を！笑顔が交差する瞬間。高橋市長も黄色の法被で、乗客を見送ります。

ホームでは留萌のゆるキャラ『KAZUMOちゃん』と長能駅長が、出発までのひとときを盛り上げました。



お詫びと訂正

2012年5月号P24「留萌観光・感動物語」の記事で、千望台休憩施設の開業期間、10/28までと掲載しましたが、正しくは、10/31までです。お詫びして訂正いたします。